

高等技術専門校評価システム〈評価表〉

川越高等技術専門校 木工工芸科

評価項目		指標	評価	コメント
1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている	(1) 生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率平均 95.9%	・技能習得の過程において、職業人としての素地を与えることを目標としている。訓練内容面では、「道具の扱い」「木の加工」という基本作業の習得に努めている。 ・引き続き満足度を高める取り組みをしていきたい。
	(2) 訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	(a) b c 満足度平均 100%	
	(1) 応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a (b) c 応募倍率 1.07倍	
	(2) 入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a (b) c 入校率 96.7%	
3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1) 就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	(a) b c 就職率 100%	・就職活動を早めに進めるように指導して意識を高めた。 ・関連就職での中高年の就職は厳しい状況にある。就職支援を充実させる。
	(2) 就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 前年度修了者	就職率 100%	(a) b c 就職率 100%	
	(3) 就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	(a) b c 関連就職率 86.4%	
	・資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	合格率 全国平均以上	a b c 評価なし	

a:優れている b:良好である c:改善を要する

総合評価

(A) 優れている B:良好である C:一部改善を要する D:総合的な見直しを要する

a評価が5項目あるため、総合評価はAとする。
出席率、満足度がa評価に対して、応募倍率がb評価については、木工工芸科の魅力や訓練内容が十分に伝わっておらず、応募へとつながっていないと言える。

また、就職状況は100%と高い状況であるが、訓練生の中高年代と企業の求人とのマッチングに重点をおいて就職支援する必要がある。今後は、求人開拓を強化すると共にきめ細やかな就職指導を実施していく。

訓練内容としては、基礎技能の習得が目標ではあるが、後半の家具製作において、訓練生個々の興味・志望や就職先に対応した課題を設定して訓練生のニーズに応えている。地域へのPRと、作品を通した使い手との繋がりを訓練生に自覚させることを目的に訓練生が製作した作品の展示即売会を開催している。